

NY マーケットレポート (2014 年 12 月 17 日)

NY 市場では、序盤に発表された米消費者物価指数が、市場予想を下回り、2008 年 12 月以来 5 年 11 ヶ月ぶりの大きな落ち込みとなったことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後は、堅調な株価動向を背景に上昇となった。一方、ユーロは、ECB 理事が大規模な資産購入が始まると示唆したとの報道を受けて、主要通貨に対して軟調な動きとなった。そして、FOMC では、FRB の利上げに向けた流れに大きな変化がないことが示されたとの見方から、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、株価が一段の上昇となったことも影響して、クロス円も堅調な動きとなった。

2014/12/17 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.40	117.45	116.31
EUR/JPY	146.31	146.47	145.51
GBP/JPY	184.45	184.52	183.15
AUD/JPY	95.76	96.22	95.22
EUR/USD	1.2463	1.2516	1.2462

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.51	116.96
EUR/JPY	146.41	145.69
GBP/JPY	184.71	183.65
AUD/JPY	95.98	95.65
EUR/USD	1.2473	1.2447

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16819.73	+64.41
ハンセン指数	22585.84	-84.66
上海総合	3061.02	+39.50
韓国総合指数	1900.16	-3.97
豪ASX200	5161.86	+9.52
インドSENSEX指数	26710.13	-71.31
シンガポールST指数	3227.23	+12.14

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6336.48	+4.65
仏CAC40	4111.81	+18.71
独DAX	9544.43	-19.46
ST欧州600	329.34	+0.46
西IBEX35指数	10049.50	-32.40
伊FTSE MIB指数	18569.03	-101.02
南ア 全株指数	47282.48	-114.96

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	118.71	118.91	116.80
EUR/JPY	146.43	146.76	145.35
GBP/JPY	185.80	185.04	183.20
AUD/JPY	96.41	96.63	95.73
NZD/JPY	91.48	91.57	90.55
EUR/USD	1.2337	1.2477	1.2320
AUD/USD	0.8122	0.8236	0.8107

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17356.87	+288.00
S&P500	2012.89	+40.15
NASDAQ	4644.31	+96.48
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14213.36	+351.87
ブラジルボルサ指数	41004.44	+779.36
ボネバ指数	48713.64	+1706.13

12/18 経済指標スケジュール

16:00 【スイス】11月貿易収支
 17:30 【香港】11月失業率
 18:00 【独】12月IFO[景気動向]
 18:30 【英】11月小売売上高指数
 18:30 【南ア】11月生産者物価指数
 19:00 【欧】10月建設支出
 22:30 【米】新規失業保険申請件数
 22:30 【米】失業保険継続受給者数
 23:00 【メキシコ】10月小売売上高
 00:00 【米】11月景気先行指標総合指数
 00:00 【米】12月フィラデルフィア連銀景況指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1194.30	+0.20
NY 原油	56.47	+0.54
CMEコーン	408.25	+2.25
CBOT 大豆	1035.25	+4.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.61%	0.55%
3年債	1.06%	0.99%
5年債	1.60%	1.52%
7年債	1.93%	1.84%
10年債	2.13%	2.06%
30年債	2.73%	2.69%

12/18 主要会議・講演・その他予定

・EU首脳会議 (～19日)
 ・米5年TIPS債入札

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -3.3% (前回 7.3%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

≪MBA 住宅ローン申請指数≫

	12/12	12/5	11/28	11/21	11/14	11/7	前年同期
申請指数	-3.3	7.3	-7.3	-4.3	4.9	-0.9	-3.9
購入	-6.9	1.3	2.5	-4.8	11.7	1.1	-5.3
借換え	0.0	13.2	-13.4	-3.5	0.9	-1.9	-3.0
固定金利	-2.5	7.0	-7.1	-4.4	5.2	-0.6	-2.1
変動金利	-13.6	11.7	-11.2	-3.1	1.2	-4.3	-24.6

(%)

ローン契約平均金利 (%)

固定金利 30 年	4.06	4.11	4.08	4.15	4.18	4.19
固定金利 15 年	3.33	3.35	3.30	3.35	3.38	3.38

22:00

ドル/円 117.20 ユーロ/円 145.94 ユーロ/ドル 1.2452

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6281.22	-50.61	ダウ INDEX FUTURE	17072	+65
仏 CAC40	4065.71	-27.49	S&P500 FUTURE	1973.90	+8.80
独 DAX	9490.50	-73.39	NASDAQ FUTURE	4103.50	+20.25

(出所:SBILM)

22:00

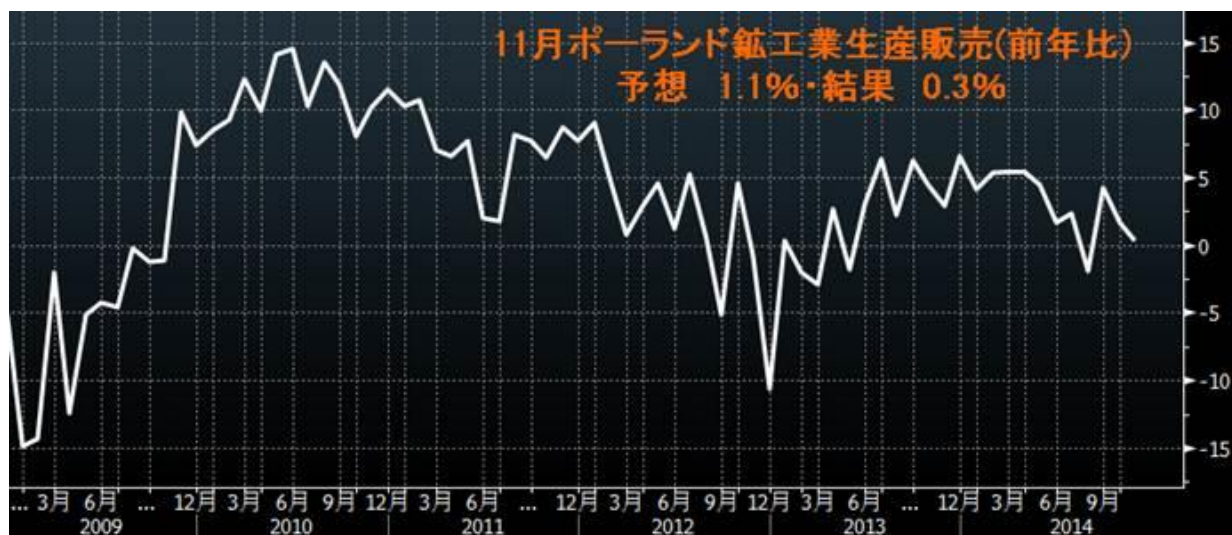
◀ 経済指標の結果 ▶

11月ポーランド鉱工業生産販売(前月比) -7.5% (予想 -6.9%・前回 3.5%)

11月ポーランド鉱工業生産販売(前年比) 0.3% (予想 1.1%・前回 1.6%)

11月ポーランド生産者物価指数(前月比) -0.5% (予想 -0.2%・前回 -0.4%)
前回発表の-0.3%から-0.4%に修正

11月ポーランド生産者物価指数(前年比) -1.6% (予想 -1.2%・前回 -1.3%)
前回発表の-1.2%から-1.3%に修正



(出所:ブルームバーグ)

22 : 30

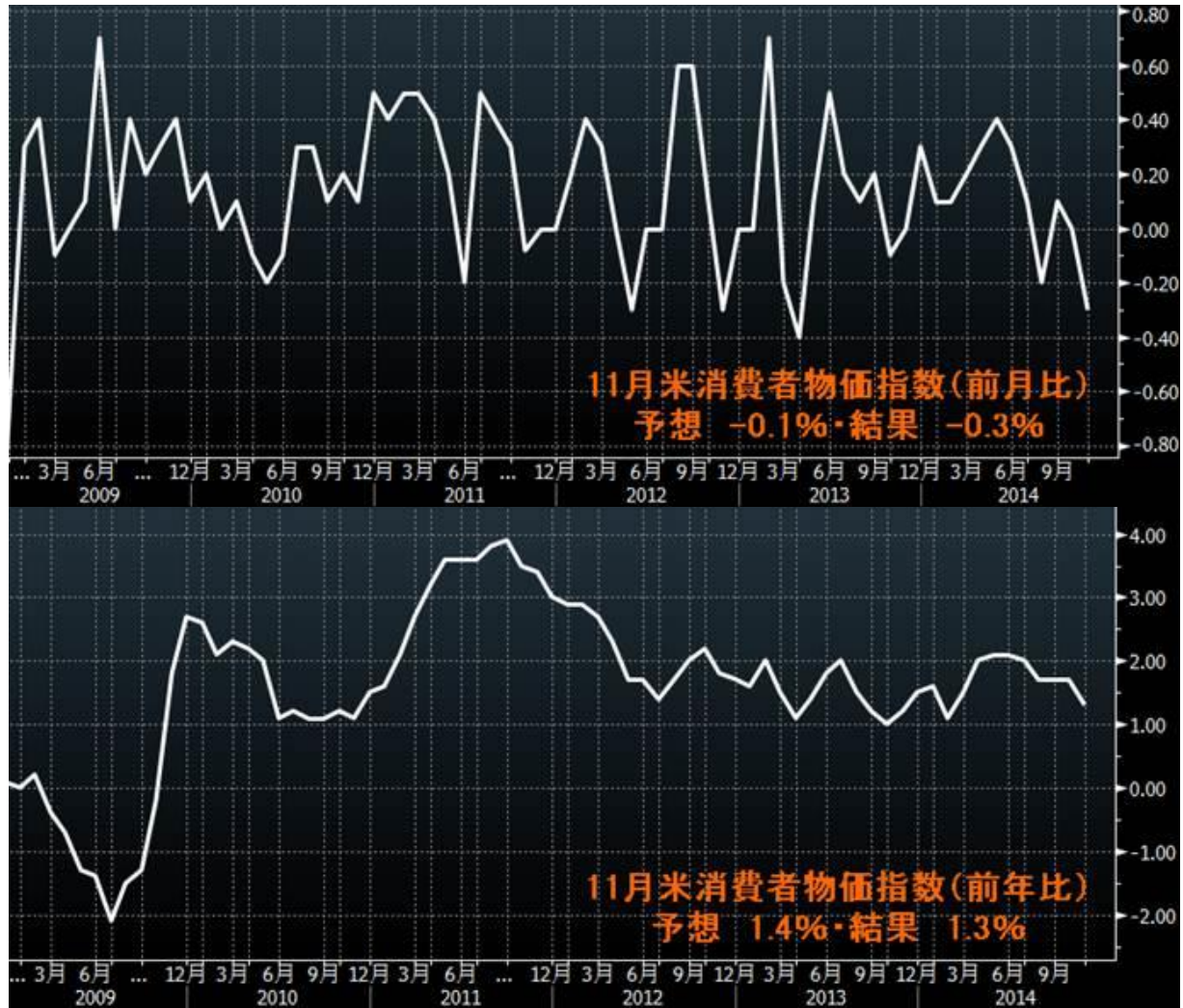
≪ 経済指標の結果 ≫

11 月米消費者物価指数 (前月比) -0.3% (予想 -0.1%・前回 0.0%)

11 月米消費者物価指数[コア] 0.1% (予想 0.1%・前回 0.2%)

11 月米消費者物価指数 (前年比) 1.3% (予想 1.4%・前回 1.7%)

11 月米消費者物価指数[コア] 1.7% (予想 1.8%・前回 1.8%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

≪ 消費者物価指数 ≫

	11 月	10 月	9 月	8 月	7 月	6 月	5 月
全品目	-0.3	0.0	0.1	-0.2	0.1	0.3	0.4
除く食品・エネルギー	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.3
エネルギー	-3.8	-1.9	-0.7	-2.6	-0.3	1.6	0.9
サービス	0.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	0.4
食品・飲料	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.0	0.4
居住費	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q 米経常収支 -1003 億 USD (予想 -975 億 USD・前回 -984 億 USD)
 前回発表の-985 億 USD から-984 億 USD



22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10 月カナダ卸売売上高 (前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 1.8%)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17126.03	+57.16
ナスダック	4559.44	+11.61

(出所: SBILM)

23 : 45

ロシア中銀

- ・「銀行に時価会計を一時的に免除」
- ・「必要あれば外貨レポ入札を追加実施も」
- ・「前四半期の外為レートに基づく海外資産評価を容認」

0 : 15

クーレ ECB 理事～「大規模な資産購入が来年始まると示唆」－WSJ



(出所: ネットダニアー)

0 : 35

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・84.7万バレル減少

ガソリン在庫・・・525万バレル増加

留出油在庫・・・20.7万バレル減少

0 : 40

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、ダウ平均は前日まで3営業日続落した反動で、割安感が出た銘柄を買う動きが広がり、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。ただ、FOMCを控えて様子見ムードも強く、その後は小動きの展開が続いている。

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA(全米抵当貸付銀行協会)の住宅ローン申請指数は、前週比-3.3%(前週は+7.3%)となった。購入申請が減少したことが要因となった。構成指数の購入指数は-6.9%、借り換え指数は前週から変わらずとなった。30年固定金利型の住宅ローン金利は4.06%(前週4.11%)となり、2013年5月以来の低水準。一方、15年固定金利型は3.33%(前週3.35%)。申請全体に占める借り換えの割合は66.4%(前週63.9%)を上回った。

(2) 11月の米消費者物価指数は、前月比-0.3%となり、2008年12月以来5年11ヵ月ぶりの大きな落ち込みとなった。ガソリンなどエネルギー価格の値下がり物が物価全体を前月から押し下げた。

①変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.1%と市場予想と一致した。また、前年同月比は総合指数が+1.3%、コア指数は+1.7%となった。

②品目別では、エネルギーが-3.8%となり、ガソリンが-6.6%と2008年12月以来の低水準、天然ガスも値下がりした。食品は+0.2%となり、牛肉や清涼飲料が値上がり物が寄与した。

(3) 7-9月期の米経常収支は、赤字額が前期比+1.9%の1002億5500万ドル(約11兆7000億円)となり、2四半期ぶりに拡大した。前四半期には、海外から米政府に対する多額の罰金支払いなどがあり一時的に大幅に赤字額が減少した反動で経常赤字全体が拡大した。

①経常赤字の GDP に占める比率は 2.3%と、4-6 月期から横ばいとなった。モノとサービスを合わせた赤字額は -5.3%の 1243 億 2900 万ドル。原油価格の下落を背景に石油関連の輸入が減る一方、自動車・部品や通信機器の輸出が増え、モノの赤字が縮小した。サービスの黒字は減少した。

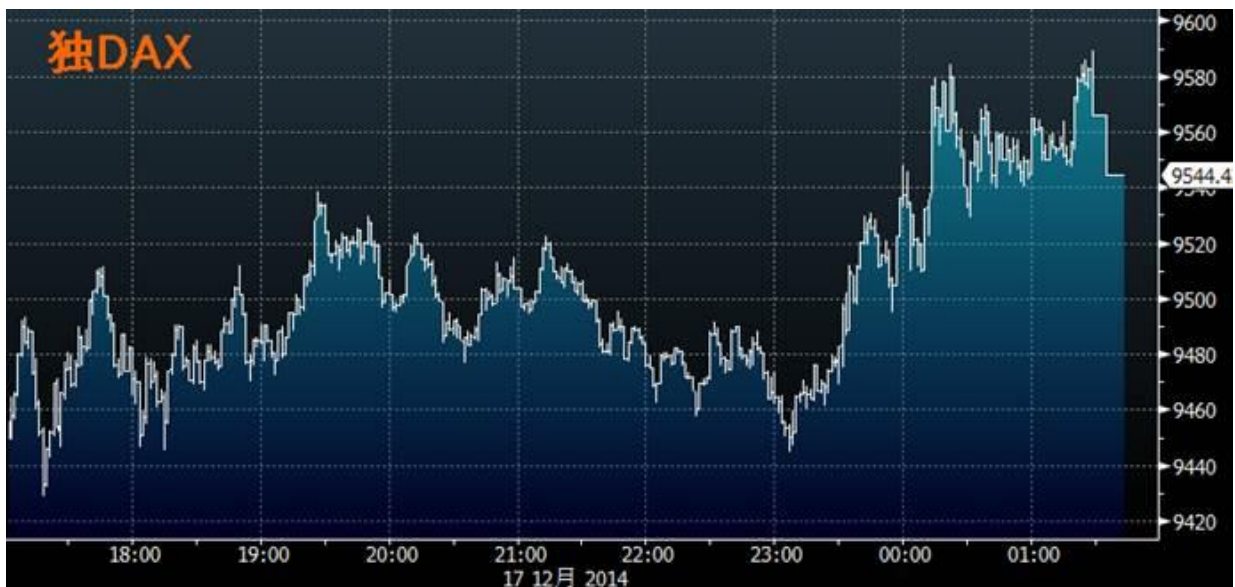
②海外証券投資に伴う配当などの収入が増え、所得収支の黒字額は+7.7%となった。カネの流れを示す資本収支は、海外から米国への投資が拡大し、3564 億 2000 万ドル。また、米国から外国への投資も増加し、3581 億 8000 万ドルとなった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6336.48	+4.65
仏 CAC40	4111.81	+18.71
独 DAX	9544.43	-19.46
ストック欧州 600 指数	329.34	+0.46
ユーロファースト 300 指数	1316.76	+1.57
スペイン IBEX35 指数	10049.50	-32.40
イタリア FTSE MIB 指数	18569.03	-101.02
南ア アフリカ全株指数	47282.48	-114.96

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。序盤から軟調な動きとなったものの、原油価格の持ち直しを好感して石油関連株を中心に買いが優勢となった。英 FT100、仏 CAC40 はプラス圏まで値を戻し手引けたものの、独 DAX は小幅安となった。



(出所: ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17230.28 (+161.41)、 S&P500 1996.35 (+23.61)、 ナスダック 4593.93 (+46.10)

《欧州のポイント》

①トルコ中央銀行のバシチュ総裁は、議会委員会に対し、インフレ見通しに明確な改善が見受けられるまで、金融政策の引き締めを維持すると表明した。総裁は「マクロ経済上の措置で好ましい影響が今年初めに見受けられた」と述べ、コアインフレ率の動向に基づき金融政策の引き締めスタンスを取っていることを明らかにした。

②英国立統計局によると、ILO（国際労働機関）ベースでみた8-10月の失業率は6.0%となり、市場予想を上回ったものの、7-9月と変わらずとなった。8-10月の失業者数は-6万3000人。10月単月の週間平均賃金はボーナスを除くベースで前年同月比+1.8%。8-10月の週間平均賃金は、ボーナスを除くベースで+1.6%。8-10月のボーナスを含む平均賃金は+1.4%と市場予想の+1.2%を上回った。

③ECBが有力指標としているユーロ圏の長期インフレ期待が初めて1.60%を割り込んだ。5年後から5年間の期待インフレ率を反映するブレイク・イーブン・インフレ率（フォワードBEI）は1.5977%をつけた。ECBのインフレ目標である2%を小幅に下回る水準から、かなり離れている。

④17日公表された英中銀のMPC（金融政策委員会）議事録において、7対2で政策金利据え置きを決めたことが明らかとなった。議事録によると、委員らは「今までのところ、賃金上昇は生産性向上のペースにほぼ沿っているというにすぎず、それを上回っているとはいえない」とし、2%というインフレ率の目標を達成するためには一段の賃金上昇が必要だと論じた。

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、米FOMC声明で事実上のゼロ金利を「相当の期間」維持するとの文言を変更する可能性があるとの見方が広がり、利上げ前倒し警戒感からの売りが先行した。ただ、11月の米消費者物価指数が市場予想を下回り、5年11ヵ月ぶりの下落率となったことをきっかけに買い戻しも入り、下げ幅は限定的となった。

午前の利回りは、30年債が2.71%（前日2.69%）、10年債が2.08%（2.06%）、7年債が1.87%（1.85%）、5年債が1.55%（1.52%）、3年債が1.02%（0.99%）、2年債が0.58%（0.55%）。

4 : 00

《経済指標の結果》

FOMC 政策金利 0-0.25%（予想 0-0.25%・前回 0-0.25%）

4 : 00

《FOMC》

- ・「利上げについて『辛抱強さ』に言及」
- ・「労働力の活用不足、引き続き解消に向かっている」
- ・「最近の世界市場の不安定には言及せず」
- ・「慎重なアプローチ、『10月声明と一致』」
- ・「当局者15人は15年の初回利上げを予測、9月は14人」
- ・「フィッシャー、プロッサー、コチャラコタ3氏が反対票」

4 : 45

《 要人発言 》

イエレン FRB 議長

- ・「新しい表現は政策意図の変更ではない」
- ・「12 月 声明は何らかの意図変更を意味せず」
- ・「正常化、今後数回の会合で開始する可能性低い」
- ・「参加者のほとんど、2015 年利上げを想定」
- ・「『辛抱強い』は次回数回の会合で動かないことを意味」
- ・「政策行動は記者会見の日に限定しない」
- ・「FRB は世界市場の動向を注意深く見ている」
- ・「原油安は米国の見通しにプラス」
- ・「原油に起因するインフレ変動は一時的な模様」
- ・「金利について市場との見解の違いがあると認識」
- ・「数回」の会合は 2 回を意味する
- ・「金融政策は長期にわたって非常に緩和的に」

4 : 50

NY 金は、中心限月が前日比 0.20 ドル高の 1 オンス＝1194.30 ドルで取引を終了した。

5 : 20

NY 原油は、中心限月が前日比 0.54 ドル高の 1 バレル＝56.47 引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1194.30	+0.20
NY 原油	56.47	+0.54

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、米 FOMC の結果発表を控えて利上げ前倒しへ警戒感が強まったが、ルーブル下落が懸念され買い優勢となった。終値ベースでは、6 営業日ぶりに反発となった。



(出所: ブルームバーク)

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、米石油在庫統計で原油在庫の減少が示され買いが先行したが、米 FOMC の声明発表を控えて値動きは小さかった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17356.87	+288.00	17389.30	17069.16
S&P500 種	2012.89	40.15	2016.75	1973.77
ナスダック	4644.31	96.48	4651.90	4550.70

(出所:SBILM)

<< 米株式市場 >>

米株式市場は、ダウ平均が前日まで 3 営業日続落した反動で、割安感が出た銘柄を買う動きが広がり、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。ただ、FOMC を控えて様子見ムードも強く、その後は小動きの展開が続いた。その後、FOMC を受けて一段の上昇となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 320 ドル高まで上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	118.71	118.91	116.80
EUR/JPY	146.43	146.76	145.35
GBP/JPY	185.80	185.04	183.20
AUD/JPY	96.41	96.63	95.73
NZD/JPY	91.48	91.57	90.55
EUR/USD	1.2337	1.2477	1.2320
AUD/USD	0.8122	0.8236	0.8107

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想を下回る結果となったことから、序盤のドル円・クロス円はやや上値の重い動きとなった。その後、注目された FOMC を受けて、株価が大きく上昇したことから、投資家のリスク志向の動きが強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。